

吉岡宰次郎君（平成24年度 生産機械システム技術科卒業）、大分大学工学部で学位（博士）公聴会に臨む。

平成25年3月に九州職業能力開発大学校生産機械システム技術科を卒業し、大分大学工学部大学院に入学した吉岡宰次郎君が、平成29年2月9日（土）に行われた学位公聴会を受け、大分大学から博士（工学）の学位を取得されることになりました。九州職業能力開発大学校在学中からの目標を見事に達成しました。在学中から何事にも積極的な学生で、特に開発課題ではその内容を精密工学会で発表し「ベストプレゼンテーション賞」を受賞したことを思い出します。担当教官の後藤先生のお話によると、非常にまじめに研究に取組み「修士課程」「博士課程」とも優秀な成績で修了したとのこと。吉岡君が九州職業能力開発大学校在学中、関わった者として嬉しい限りです。就職先も工業高等専門学校で助教に内定しているとのこと。今後の教育者そして研究者としての活躍を期待したいと思います。吉岡君、本当におめでとうございます。（文責 八崎）

学位公聴会

論文テーマ：「強磁性を有する各種構造材料を対象とした

電磁非破壊検査技術に関する研究」

論文概要：本論文では、石油化学プラントや各種構造物内に使用されている強磁性を有した構造材料中に生じる欠陥や成分評価を行なう新たな電磁気検査手法について論じている。

開催日時：2018年2月9日（金曜日）10:40～

開催場所：大分大学9号館（エネルギー棟）1階 多目的演習場

講演者：大分大学工学部 工学研究科 物質生産工学専攻
電磁応用非破壊診断研究室博士課程後期3年
吉岡宰次郎君

担当教官：後藤雄治准教授



吉岡君の学位（博士）公聴会で